



USER MANUAL



コントロールノブ

MIX エフェクトを完全なドライ（反時計回り）から完全なウェット・ヴィブラート（時計回り）まで変化させます。また、CHORUSとして知られるドライとビブラートを半々にブレンドするために、中央にクリック感のあるノブを採用しています。プリセットを保存する際、MIX値は保存されません。

DEPTH Bucket Brigade Delay(BBD) チップにかかる LFO の強さを増減します。
DEPTH コントロール値はプリセット保存時に保存されます。

SPEED LFO のスピードを 0.1Hz から 10Hz の範囲で調節します。
SPEED コントロール値はプリセット保存時に保存されます。

TONE ウェット信号の EQのみをシェイプするために使用します。CCW は低域をブースト、高域をカットし、CW は高域と低域をブーストします。
プリセットを保存する際、TONE 値は保存されません。

PHASE/RATIO 80's、RCK、VIB、UC のプリセットでは、LFO1 に対する LFO2 の位相を調節します。反時計回りに回すと、2つの LFO の位相がロックされます。PHASE コントロールを進めると、LFO2 は LFO1 に遅れを取り始め、完全に時計回りに回すと、2つの LFO の位相は 180 度ずれます。

ROT と HRM のプリセットでは、LFO1 に対して LFO2 のスピードを増加させる乗数を調節します。
70's のプリセットでは、LFO が 1 つしかアクティブでないため、PHASE/RATIO コントロールは影響しません。
PHASE/RATIO コントロールの値は、プリセットの保存時に保存されます。

DELAY BBD チップに送られるセンタークロック周波数を制御します。
Fast(反時計回り)ディレイの設定は、超タイトで、ほとんどコプレスされたサウンドを与え、Slow(時計回り)ディレイの設定は、よりルーズで、よりシーシクサウンドに近いサウンドを与えます。
NOTE: UC プリセットで DELAY コントロールの両端を極端に設定すると、BBD チップを限界まで追い込むため、ノイズが発生する場合があります。

入出力

INPUT NEW WAVE のインプットは、STANDARD モードまたは TRS モードで動作させることができます。STANDARD モードは、一般的なコーラス・ペダルと同様にモノラル・イン、ステレオ・アウトです。TRS モードはステレオ・イン、ステレオ・アウトで、インプットは TRS ケーブル、アウトプットは TRS ケーブルで L-OUT ジャックを使用します。
ペダルはデフォルトで STANDARD モードが有効になっています。TRS モードを設定するには TAP フットスイッチを押しながら電源を入れます。
マゼンタ色の LED が STANDARD モードを示します。

MIDI INPUT MIDI は 3.5mm TRS ジャックで使用します。3.5mm TRS Type A 仕様です。

EXP INPUT SPEED のエクスペッション・コントロールは 3.5mm TRS ジャックに入力します。標準的なエクスペッション・ペダルであれば、NEW WAVE で動作します。



USER MANUAL

スイッチ

MODE DEAPTH ノブを押すとプリセットが進みます。長押しするとプリセットが保存されます。DEPTH ノブの周りの LED が点滅し、プリセットが保存されたことを示します。両方のフットスイッチを同時押しでも、プリセットを進めることができます。

SHAPE PHASE ノブを押すと、LFO 波形が進みます。

ON/OFF 左フットスイッチを押して、エフェクトをオンにします。

TAP TEMPO 右フットスイッチを任意のテンポで 3 回押しすと、LFO のスピードが任意のテンポに設定されます。

BLOOM 機能

BLOOM 機能を有効にするには、左フットスイッチを 1 秒間押し続けます。

これで NEW WAVE はトゥルーバイパスではなく、バッファードバイパスとなり、左フットスイッチを押すとエフェクトがフェードオン/オフします。

LED が緑色の場合は、エフェクトがオフの状態です。

BLOOM 機能を無効にするには、もう一度左フットスイッチを長押しすると LED が水色に点灯します。これでトゥルー・バイパス動作に戻ります。

RAMP 機能

RAMP 機能では、タップ・テンポ・スイッチで LFO をタップするのに対して、ランプ機能を使って LFO のスピードを変えることができます。

RAMP 機能を有効にするには、TAP フットスイッチを押し続けます。

LED が白色 LED の点滅（タップ・モード）からピンク色 LED の点滅に変わります。

特定のスロー・スピードが設定されていない限り、RAMP 機能は最初に現在の LFO スピードの 1/2 のスピードまでランプ・ダウンします。

TAP フットスイッチをもう一度押しすと、LFO はより速いスピード設定までランプアップします。

スロー・スピードを設定するには、Phase ボタンを押したまま、Speed ノブを希望のスロー・スピードに調整します。

Phase ノブを離すと、スロー・スピードの設定が保存されます。

速いスピードに設定するには、スピード・ノブを調整し直します。

今 TAP フットスイッチを押すと、LFO スピードのプリセットが保存されます。

TAP テンポ機能を再び有効にするには、TAP フットスイッチを長押しします、

TAP フットスイッチを 1 秒間長押しすると、TAP LED が白色 LED の点滅に変わります。

波形

NEW WAVE では下記の 5 つの LFO 波形が使用できます。

Sine Triangle Square Solina Triplet Solina



Sine: 非常にスムーズでオーガニックなサウンド

Triangle: 非常に直線的に上下する。ほとんどのコーラス・ペダルがこの形状を採用している。

Square: 非常にぎこちなく、ユニークなサウンド作りに最適

Solina: リズミカルにモディファイされたサイン波が、どんな演奏にも驚くほどの質感を加えます。

Triplet Solina: 私たちが制作したソリーナ波形にリズムの可能性を広げるために 3 連符のフィーリングを加えたもの。

モード

NEW WAVE のすべてのモードは、ブラッド・ジャクソンとマーク・レティエリによって入念に厳選されました。

すべてのノブを 12:00 にセットした状態で NEW WAVE をスタートし、全てのモード一度をお試しされることをお勧めします。

70' s MODE 70 年代後半のサウンドを目指した、NEW WAVE 唯一のモノラル・コーラス。右側の静止したドライ・サウンドに対して左側が動くシンプルなモノラル LFO。

80' s MODE 2 つの LFO が同時に動くクラシックなステレオ・コーラス。

RACK MODE ピッチ・アップとピッチ・ダウンの両方を特徴とする非常に音楽的なステレオ・コーラス。

VIBRATO MODE クラシックなアナログ・ビブラート（MIX を完全に時計回りに設定）。

ROTARY MODE ロータリースピーカーキャビネットのサウンドをエミュレート。RATIO コントロールは、LFO2（ホン）を LOF1（ドラム）の最大 3 倍までスピードアップし、LFO2 の強度は LFO1 の半分になります。

HARMONIC MODE リズミックコーラス。HARMONIC モードでは、RATIO は LFO1 に最大 2 倍の乗数をかけて LFO2 のスピードをコントロールします。LFO2 の強さは LFO1 と同じです。

USER CONTROL フルコントロール。制限なし。このモードは好きなように設定可能です。すべてのパラメーターを追い込み、あなただけの素晴らしいサウンドに仕上げることができます。



USER MANUAL

モードプリセットの保存

DEPTH、SPEED、PHASE/RATIO、DELAY、波形の値を保存できます。各モードのBLOOM、RAMP。現在の設定を現在のモードに保存するには、DEPTH LEDがマゼンタ色に点滅するまでデプスボタンを押し続けます。Toは、各モードに保存した設定を記憶します。

プリセットを切り替えるには、両方のフットスイッチを同時に押すか、DEPTHノブを押します。

MIDI 機能

使用ケーブル

本機でMIDIを使用するには、MIDI (DIN-5) コネクタをTRSケーブルに変換する6.35mm(1/4") TRS Type A仕様ケーブルが必要です。

MIDIチャンネルを設定するには、左フットスイッチを押したまま電源を入れる。Depthノブで1-16をスクロールします。

CC1 Value 0=OFF
CC1 Value 127=ON
CC2 Value 1=Sine
CC2 Value 2=Triangle
CC2 Value 3=Square
CC2 Value 4=Solina
CC2 Value 5=Triplet Solina
CC3 Value 0-127=Depth
CC4 Value 0-127=Speed
CC5 Value 0-127=Phase
CC6 Value 0-127=Ratio
CC7 Value 0-127=Delay
CC8 Value 0-100=Set speed in Hz(0=0.3Hz, 100=10Hz)
CC9 Value 127=RAMP up or down
CC10 Value 127 Followed by Value 0=Tap Tempo

PC 1= 70' s MODE
PC 2= 80' s MODE
PC 3 = Rack M

Expression

TRS エクスプレッション・ペダルを使ってスピードをコントロール可能です。

USB

将来のファームウェア・アップデートに対応するミニUSBジャックが基板上に配置されています。